

所信表明

(ア) 木下義晶

(イ) 平成 5 年 (1993 年) 卒

(ウ) 委員会活動歴・抱負

この度令和 7 年度理事に立候補させていただきました。私は平成 5 年に九州大学医学部を卒業後、水田祥代先生主宰の九州大学小児外科学教室に入局致しました。学位取得後、新潟大学小児外科で窪田正幸先生から、九州大学小児外科で田口智章先生、田尻達郎先生からご指導を頂きました。2011 年には Prem Puri 教授に膀胱尿管逆流の内視鏡的逆流防止術のご指導を頂きました。2020 年に新潟大学小児外科教授に就任し、現在に至っております。自身の小児外科医療における専門領域としては新生児外科、小児がん、先天性泌尿生殖器疾患など複数の領域を持つことができました。

本学会におきましては 2006 年より評議員を務め、悪性腫瘍委員会、教育委員会、トランジション検討委員会、小児救急検討委員会、保険診療委員会、倫理・医療安全管理委員会などで委員として、悪性腫瘍委員会、倫理・医療安全管理委員会では委員長を担当させていただきました。また 2018 年から専門医制度委員会の施設認定委員会では委員として、2022 年から同委員会の委員長を務め、過渡期の専門医制度について、特にサブスペシャルティ領域の対応に関わらせていただきました。

理事として活動したい目標を 3 つ挙げます。一つ目は地方からの小児外科医の育成についてです。地方大学出身の若手医師が研修プランとして様々な選択肢がとりうるように現状の確認や選択できる道が見える化する方策を考えていきたいと思っております。二つ目は多診療科間連携です。私は今まで小児外科と関係のある他の複数の関連学会にて理事職を経験してきました。それらを本学会での活動に活かしたいと存じます。三つめはサブスペシャルティとしての専門医制度についてです。これから専門医取得をめざす小児外科医の先生方に、そしてなによりも患者様に不利益な制度とならないような制度移行を目指して尽力してゆきたいと存じます。